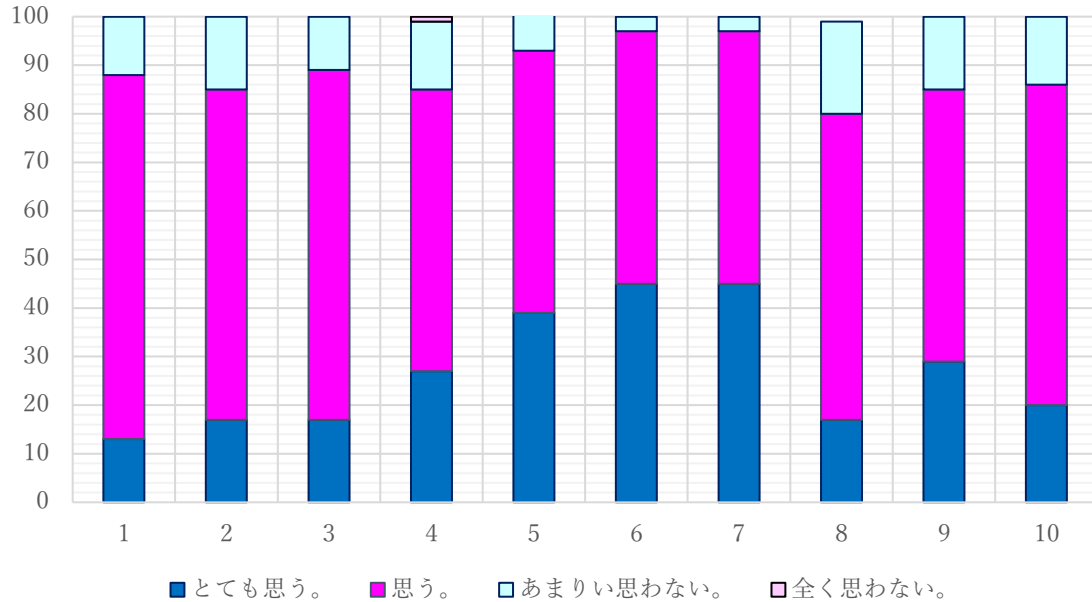


## 校訓到達度チェック（4月）



## 昨年度からの取組

学校経営方針・学校教育目標・校訓を抛り所に、10項目の**重点目標**を設定しています。今年度も、生徒による**自己評価**を毎月行い、支援・助言・指導の参考としていきます。

### 分析

新年度がスタートし、新しい環境に慣れようと多くの生徒が取り組んでいました。さすが最上級生の3年生の評価は、他学年と比べ高い評価となりました。新入生の1年生は、まずは学校生活に慣れることが大切なようです。

学年格差が大きいながらも、全体的な傾向としては、次の点が明らかになりました。

#### 【概ね良好な評価】“共生”

- 5 他の違った意見や考え方を尊重できた。(肯定意見 93%)
- 6 思いやりをもって調整できた。(肯定意見 97% 3年生100%)
- 7 他と協力し、安心して思う存分に活動することができた。(肯定意見 97% 3年100%)

#### 【課題が残った評価】“創造”

- 8 伝統を活かし、あるいは、前例に問われなく工夫できた。(否定意見 19%)
- 9 活動結果をしっかりと受け止め、損の成果を明らかにできた。(否定意見15%)

学校生活（集団生活）がスタートし、自律・共生の部分は、多くの場面で必要とされたという面が大きいと思います。5月は体育大会・教育相談などが予定されています。また、市中総体へ向けての準備も本格的になります。

#### 【5月の重点目標】

- 3 自分に合った目標を設定し、自分の役割を果たすことができた。
- 5 他の違った意見や考え方を尊重できた。  
と設定し、5月も頑張っていきましょう。

※生徒自身の**自己評価能力**という点にも昨年度から課題であると思います。

※中学校では、**自己指導能力**をもたせるように、支援・助言・指導し続けています。